

モバイル乗車券 [スマホ de noroca] が「2022年度グッドデザイン賞」を受賞



東武トップツアーズ株式会社（本社：東京都墨田区、社長：百木田康二）は、「2022年度グッドデザイン賞」（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）において、栃木県小山市（市長：浅野正富）と株式会社アローリンク（本社：兵庫県神戸市、社長：蓬菜和真）と共に、企画・開発・プロジェクトマネジメントに携わった、モバイル乗車券 [スマホ de noroca] が「グッドデザイン賞」を受賞しましたことをお知らせします。

モバイル乗車券 [スマホ de noroca] は、小山市が公共交通サービスの利便性向上を目指し、MaaS等の新技術導入を検討していたなか、小山市コミュニティバス「おーバス」の全線共通定期券である noroca を、コミュニケーションアプリ LINE を活用して2021年に電子化したものです。「おーバス」の LINE 公式アカウントから友だち登録し購入しておく、バス降車時に運転手にスマホの LINE 画面を提示するだけのシンプル設計となっており、老若男女誰もが使いやすく、交通系 IC カードと比較して、導入・維持費用の大幅なコストダウンを実現しています。これらの取り組みの結果、このたび「グッドデザイン賞」として高く評価されることになりました。

当社では今回の受賞を契機に、「地域を元気に！日本を元気に！」という想いのもと、地域交通のさらなる利活用や、移動活性化につながるソリューションの提供に努めてまいります。

■受賞対象名：モバイル乗車券 [スマホ de noroca]

<特徴>

- ・専用アプリは不要で、コミュニケーションアプリ LINE のみで完結
- ・バス車両への機材搭載不要、画面を確認するだけのシンプルな設計
- ・モバイル乗車券所持者に対し、地域の店舗の割引サービス付加やサービスやお出かけの情報発信

<審査員コメント>

大都市の移動者にとっては一般的な交通系 IC カードは、実は導入費用が膨大という欠点を持つ。スマートフォンアプリはダウンロードの手間を嫌う人もいる。そんな中で高齢者の利用率も高い LINE に注目し、定期券や回数券のデジタル化に用いたのは賢明である。とりわけ回数券は、家族や友人分の運賃をひとつのスマートフォンでまとめて払えることを可能としており、公共交通を使っでの外出促進にも寄与する取り組みである。

グッドデザイン賞受賞ページ <https://www.g-mark.org/award/describe/53997>

(参考)

■グッドデザイン賞とは (<https://www.g-mark.org/>)

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。



■「スマホ de noroca」

栃木県小山市のコミュニティバス「おーバス」で利用できるモバイル乗車券サービスで、販売場所に出向くことなくLINEを使ったキャッシュレス決済ができ、バスを利用する際は運転手にスマホのLINE画面を提示するだけで乗車することができます。2021年10月よりモバイル定期券のサービスを開始し、2022年2月からはモバイル回数券のサービスも行われています。

[定期券サービス開始時のニュースリリース (2021年8月31日 発表)]

<https://www.tobuoptours.co.jp/newsrelease/pdf/information/20210831.pdf>

[回数券サービス開始時のニュースリリース (2022年1月20日 発表)]

https://www.tobuoptours.co.jp/newsrelease/pdf/information/20220120_02.pdf

以上

報道関係の方からのお問合せ

東武トップツアーズ株式会社 経営戦略部 広報担当 TEL:03-3622-6215